

令和 8 年度 強化指定選手選考基準

指定期間：2026/8/1～2027/7/31

《 パラスノーボード：SB-PH 》

公益財団法人日本障害者スキー連盟が定める「強化指定選手規程」「次世代パラアスリート選考規程」「育成アスリート選考規程」に基づき、下記選考基準に則って、選手の選考および指定ランクを決定するものとする。決定までの過程は、スノーボード強化会議において下記基準に則り協議し、スノーボード委員長が承認した選手について、強化本部→運営会議→理事会での承認を得るものとする。指定を受けた選手は、「当該指定選手 誓約書」などの必要書類に署名をしたうえで、当該指定選手としての活動を開始する。

選考基準【男子・女子】

指定ランク	選考基準は 2026 年ミラノ・コルティナ 2026 冬季パラリンピック大会、2025/26 シーズン内における FIS パラワールドカップステイタス大会以上の個人成績による
A 指定選手	1. 2026 年ミラノ・コルティナ 2026 冬季パラリンピック大会にて SBX または BSL (DBSL) 種目にて 3 位以内の成績を収めた選手 ※1【重要】注釈参照 2. FIS パラワールドカップ SBX または BSL (DBSL) 種目にて 3 位以内の成績を 1 回以上収めた選手※2【重要】注釈参照 上記いずれかを満たす選手の中から、当該年度の強化予算の規模に従い、上位の成績の選手から優先的に選考の選手を優先的に選考し、スノーボード強化会議が推薦する選手 【注釈】 ※1 パラリンピックの開催が無い年は、世界選手権を対象競技会とする ※2 出場選手数により正式に競技会として成立した場合に限る
B 指定選手	1. 2026 年ミラノ・コルティナ 2026 冬季パラリンピック大会にて SBX または BSL (DBSL) 種目にて 8 位以内の成績を収めた選手※1【重要】注釈参照 2. FIS パラワールドカップ SBX または BSL (DBSL) 種目において 7 位以内の成績を 2 回以上収めた選手。※2【重要】注釈参照 上記を全て満たす選手。 または、 3. 前年度に、怪我による FIS Injury Status を申請し、同申請手続を完了、本年度復帰を希望する前年度の A 指定選手 上記の条件を満たした選手の中から、当該年度の強化予算の規模に従い、上位の成績の選手から優先的に選考し、スノーボード強化会議が推薦する選手 【注釈】 ※1 パラリンピックの開催が無い年は、世界選手権を対象競技会とし、世界選手権の開催も無い年は、2. の規定における FIS パラワールドカップ (WC) 獲得成績を複数回獲得することで、同等の評価とする (PWG または WSC 未開催のシーズン：PWG または WSC7 位以内 = WC にて 7 位以内複数回獲得する。なお、2) の基準とは別扱いで評価するため、当該シーズンは、WC にて 7 位以内を 4 回以上獲得していることで有効と判断する)。但し、当該シーズンにおいて、WC の開催数が極端に少ない場合は、2. の規定を優先し、残りの WC における結果を 2. の規定に準じて評価する (例：WC 開催数の少ないシーズン= WC 開催総数 3 回の場合 = WC にて 7 位以内を 3 回獲得していることで有効と判断する)。 ※2 当該参加競技会に出場した選手の半数を超える順位の場合に有効とする。(例：出場選手 18 名=有効(8 位が半数を上回るため)、出場選手 10 名=無効(4 位が半数を上回

	るため、5 位以下は無効とし 4 位以上を有効な成績とする)) また、SBX-T(チームイベント)は対象外とする。
C 指定選手	1. 2026 年ミラノ・コルティナ 2026 冬季パラリンピック大会にて SBX または BSL (DBSL) 種目にて 8 位以内の成績を収めた選手※1【重要】注釈参照 2. FIS パラワールドカップ SBX または BSL (DBSL) 種目にて 7 位以内の成績を 2 回以上収めた選手。 ※2【重要】注釈参照 3. 前年度に、怪我による FIS Injury Status を申請し、同申請手続を完了、本年度復帰を希望する前年度の B および C 指定選手 上記いずれかを満たす選手。 かつ 4. 2030 年フランス・アルプス冬季パラリンピックにおいて表彰台獲得を目的に、選考年度における当連盟強化活動に積極的に参加することが可能な選手※3【重要】注釈参照 上記、「1～3 のいずれか」かつ「4」の条件を満たした選手の中から、当該年度の強化予算の規模に従い、上位の成績の選手を優先的に選考し、スノーボード強化会議が推薦する選手 【注釈】 ※1 パラリンピックの開催が無い年は、世界選手権を対象競技会とし、世界選手権の開催も無い年は、2. の規定における FIS パラワールドカップ獲得成績を複数回獲得することで、同等の評価とする (PWG または WSC 未開催のシーズン : PWG または WSC 7 位以内 = WC にて 7 位以内を複数回獲得) ※2 当該参加競技会に出場した選手の半数を超える順位の場合に有効とする。(例 : 出場選手 18 名=有効(8 位が半数を上回るため)、出場選手 10 名=無効(4 位が半数を上回るため、5 位以下は無効とし 4 位以上を有効な成績とする)) また、SBX-T(チームイベント)は対象外とする。 ※3 選考年度における「当連盟強化活動に積極的に参加できている実績」とは、当該年度に実施された海外派遣事業に半分以上、参加したことを判断基準とする。ただし、新規加入選手および次世代・育成指定選手は対象外とする
D 指定	【D-1 および D-2 : 前年度のバラスノーボードナショナルチーム強化指定選手対象】 D-1 1. 直近に開催された冬季パラリンピック大会の SBX または BSL (DBSL) 種目に出場した選手※1【重要】注釈参照 2. 前年度に開催された FIS パラワールドカップ SBX または BSL (DBSL) 種目に合計 4 試合以上出場し、7 位以内の成績を収めた選手 ※2【重要】注釈参照 3. 当該年度の FIS が定めた FIS パラワールドカップ出場資格を BSL および SBX 種目の両方で有する選手【注意事項】参照 4. 2034 年フランス・アルプス冬季パラリンピックにおいて表彰台獲得を目的に、選考年度における当連盟強化活動に積極的に参加することが可能な選手※3【重要】注釈参照 上記 1～4 を全て満たす選手の中から、当該年度の強化予算の規模に従い、上位の成績の選手を優先的に選考し、スノーボード強化会議が推薦する選手 D-2 5. 当該年度の FIS が定めた FIS パラワールドカップ出場資格を BSL および SBX 種目の両方またはいずれか一方を有する選手 ※2【重要】注釈、および【注意事項】参照

	6. 前年度に開催された FIS パラワールドカップ SBX または BSL(DBSL)種目に合計 4 試合以上出場した選手 ※2【重要】注釈参照 上記 5 および 6 を全て満たす選手。 【D-3：前年度ナショナルチームトライアルにて基準を達成した選手対象】 D-3 7. 前年度に開催された CoC レベル以下の大会にて、当該年度の FIS が定めた FIS パラワールドカップ出場資格を BSL および SBX 種目の両方またはいずれか一方を獲得した選手 ※2【重要】【注釈】および【注意事項】参照 8. 前年度の次世代強化指定選手のうち、当該年度が 4 年を超える指定期間となる選手で、7. の基準を達成した選手 9. 前年度の育成指定選手または J-STAR より発掘された選手で、7. の基準を達成した選手 上記、7～9 のいずれかに該当する選手。 上記の条件を満たした選手の中から、当該年度の強化予算の規模に従い、最大 4 名までを上限に、上位の成績の選手を優先的に選考し、スノーボード強化会議が推薦する選手 【注釈】 ※1 パラリンピックの開催が無い年は、世界選手権を対象競技会とする ※2 順位については、当該参加競技会に出場した選手の半数を超える順位を有効とする。 (例：出場選手 18 名=有効(8 位が半数を上回るため)、出場選手 10 名=無効(4 位が半数を上回るため、5 位以下は無効とし 4 位以上を有効な成績とする))また、SBX-T(チームイベント)は対象外とする。出場予定の競技会において DNS となった場合は無効とする。ワールドカップ開催数の減少や中止などの事由により、開催数が少ない年度の場合は、当該年度に開催された競技会総数の半分以上の出場数を満たしたことを評価基準とする(例：BSL=4 回/年、SBX=2 回/年の場合、BSL=2 回、SBX=1 回) ※3 選考年度における「当連盟強化活動に積極的に参加できている実績」とは、当該年度に実施された国際大会派遣事業に半分以上、参加したことを判断基準とする。次世代強化指定選手は、前年度の次世代強化事業を対象事業とし、育成指定選手は、前年度の育成強化事業を対象事業とする。J-STAR 等発掘事業で発掘され、当該指定の対象者として選考される場合は、実績のある強化事業が無いことから、この基準を免除する 【注意事項】 ・当該年度の FIS-ICR に準じ、ICR またはワールドカップクライテリアに変更が生じた場合は、それらに従い、本規定の内容を改定し、翌年度の基準に反映する ・D-1/D-2 共に毎年、シーズン終了後に競技成績や強化事業参加実績をはじめとした評価を行い、継続可否を含めて評価、判断する ・D-3 は前年度のナショナルチームトライアル参加者または発掘事業参加者を限定に対象者とする ・D 指定は全員、強化指定に応じた費用負担補助対象者ではなく、全額自費による参加となる ・出場資格のある競技に限り、参加機会を提供するものであり、出場資格の無い競技会へのワイルドカード推薦を担保するものではない
W指定選手	1. FIS が認める理由で一時的に競技を中断している選手※1【重要】注釈参照 2. W指定認定後、最大 2 シーズンを経過していない選手 上記、すべての条件を満たした選手の中からスノーボード強化会議が推薦する選手

	【注釈】 ※1 FIS が認める理由は以下の通り、但し、FIS に対し当該手続を申請し、承認された場合に有効とする FIS ICR ルール #1418 負傷者、学業や公務などの業務事由、妊娠など 【注意事項】 ・ 2 年を超える期間延長の場合は、FIS への申請手続を経て、強化本部会議において協議の上、当連盟の機関決定を経て延長することができる
--	--

指定ランク	選考基準は 2025/26 シーズンの FIS_CoC レベル以上の競技会または全日本選手権(NC)、および「26/27 パラスノーボード・ナショナルチームまたは次世代強化育成選手選考申込者(以下、選考会申込者)」の個人成績による。
次世代指定選手	JPS 次世代アスリート選考規程に則り、次世代発掘・育成担当スタッフ(以下、育成スタッフ)の推薦があり、なおかつヘッドコーチを含むナショナルチームコーチが確認、スノーボード委員長より承認が得られた選手。 「次世代指定選手」を以下の基準により指定する。 【対象と条件】 対象：ナショナルチーム強化指定選手となる可能性と将来性を備え、FIS によるクラス分け認定となる可能性が高い選手 条件：下記条件を満たした選手 ※1【重要】注釈参照 ① 2025/26 シーズンの育成 A または育成 B 指定選手(年齢不問)または ② 1996 年 1 月 1 日以降に生まれた選手 ※1【重要】注釈参照 ③ 過去に A, B, C, D, W 指定選手として指定を受けていない選手 ④ 当該年度における選考基準となる競技会に出場し成績を残した選手 (FIS 競技者ライセンス取得条件を満たさない選手は、選考イベントのみの成績を採用する) ※1【重要】注釈参照 上記の条件をすべて満たした選手より、ナショナルチームコーチまたは、次世代発掘・育成担当スタッフ(以下、育成スタッフ)が推薦する 【注釈】 ※1 育成指定選手は既に強化指定選手としてその活動を開始していることから、上記②および④の適用外とする 【注意事項：活動期間】 ・ 活動期間は、最大 4 シーズン(単年度計算の場合を含む)を上限とする ・ 活動期間の継続は、毎シーズン終了後、スノーボード強化会議が当該年度の対象者の競技会成績、年度内の強化事業への参加内容を評価し、継続可否を含めて評価、判断する

指定ランク	選考基準として、当該年度を対象とした「〇〇/〇〇シーズン パラスノーボード・ナショナルチームまたは次世代強化育成選手選考申込者(以下、選考会申込者)」の申請をした選手の個人成績、および第 2 次選考合宿における技術評価を採用する。また、これらとは別に定める「J-STAR 発掘事業枠」として、J-STAR 発掘事業内の検証プログラム合宿
-------	---

	において、継続強化対象選手として選考した選手を、当該年度内のシーズンの途中より、追加指定し途中から加入する場合がある。 なお、既に指定済みの育成指定選手に限っては、当該年度内に実施された育成合宿における帯同コーチの総合的評価を参考とする。
育成 指定 選手	次世代発掘・育成担当スタッフ(以下、育成スタッフ) またはナショナルチームコーチが、雪上の技術力評価を行い、スノーボード強化会議における協議を経て、スノーボード委員長が強化本部に推薦のうえ、当連盟の機関決定を経て認定される。 1. 冬季パラリンピック出場を目指す意志があり、パラスノーボード選手育成事業に参加できる将来性のある選手 2. 将来のナショナルチーム強化指定選手となる可能性と将来性を備え、FIS によるクラス分け認定となる可能性が高い選手 3. 短期間で実績を残し、ナショナルチーム強化指定または次世代強化育成指定へ進めることを前提に、単年ごとの成果達成を目的とするプログラムに参加できる選手 4. 下記より、パラスノーボード競技における資質等を確認し、いずれかの項目に該当する選手 ① 選考イベントに出場し、評価対象となる競技実績(リザルト)を残した選手(※1 参照) ② ①の対象者のうち、第 2 次選考合宿に参加し、選考委員による技術および人物評価が得られた選手(※1 参照) ③ 他競技における優秀な成績や、国際レベルのスノーボード競技経験者など、種目転向後のパフォーマンスに大きな期待が持てる要素を持つ選手 ※1 J-STAR プロジェクト検証プログラムを含む 上記の条件を全て満たした選手 【注意事項：活動期間】 ・任期は、最大4シーズン(単年度計算の場合を含む)を上限とする ・活動期間の継続は、毎シーズン終了後、スノーボード強化会議が当該年度の対象者の競技会成績、年度内の強化事業への参加内容を評価し、継続可否を含めて評価、判断する
育成 ジュニア 指定 選手	次世代発掘・育成担当スタッフ(以下、育成スタッフ) またはナショナルチームコーチが、雪上の技術力評価を行い、スノーボード強化会議における協議を経て、スノーボード委員長が強化本部に推薦のうえ、当連盟の機関決定を経て認定される。 1. 冬季パラリンピック出場を目指す意志があり、パラスノーボード選手育成事業に参加できる将来性のある選手 2. 将来のナショナルチーム強化指定選手となる可能性と将来性を秘め、FIS によるクラス分け認定となる可能性が高い選手 3. 中長期での強化を目的に、複数年にわたる強化計画に基づき、同計画に基づく強化事業に参加し、自身の技術的向上を目的とするプログラムに参加する選手 4. 下記のいずれかにより、パラスノーボード競技における資質等を確認できた選手 ① 過年度を含め、当該年度の J-STAR プロジェクトの検証プログラムにおいて、検証担当スタッフにより推薦された選手 ② J-STAR 以外の自治体主催などの発掘事業を通じて発掘され、J-STAR プロジェクト検証担当スタッフの推薦が得られた未成年の選手 上記、1～4 の条件を全て満たした選手

【注意事項：活動期間】

- ・活動期間は、最大4シーズン(単年度計算の場合を含む)を上限とする
- ・未成年の選手の活動期間は、最大4シーズンを超えた場合は、成人になるまでを上限とする
- ・任期の継続は、毎シーズン終了後、スノーボード強化会議が当該年度の対象者の競技会成績、年度内の強化事業への参加内容を評価し、継続可否を含めて評価、判断する